

令和 8 年度 産業建設常任委員会 行政視察報告書

氏 名	谷口慎二
-----	------

No. 1

年 月 日	令和 8 年 5 月 13 日 ( 水 )
調 査 事 項	木材利用促進の取り組みについて
視 察 先	沖縄県那覇市
概要及び所見	<p>那覇市と日南市は 1969 年 昭和 44 年から姉妹都市であり、古くから交易があり特に飫肥杉は沖縄の船材として重宝されているとお聞きした。</p> <p>そこで、質問事項に、飫肥杉を那覇市で利用するうえで、短所・長所を聞いてみた。</p> <p>短所として</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小学校の机 椅子について耐久性に問題がある</li> <li>2. 無節の材料は高価でコストが合わないことがある</li> <li>3. 記録台や机の天板は傷がつき易いので使えなかった</li> <li>4. 沖縄県で扱っている業者が分からない</li> <li>5. 見積もり合わせで 他県の杉 ヒノキ材等に負けてしまう</li> <li>6. 発注から納品までに時間を要する</li> </ol> <p>長所として</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 環境に優しく木の温もりを感じさせ、情操教育の面で効果があり、木目がはっきりしており、味わいがある。</li> <li>2. 首里金城村屋でも、飫肥杉は、畳裏の床材など適所に使用されており、シロアリに強く耐久性に優れている。</li> </ol> <p>短所についての改善策として、</p> <p>飫肥杉の認知度向上のため、飫肥杉を活用した備品や玩具等の取り扱い店舗の一覧や、飫肥杉の長所を生かした活用事例紹介などを掲載したカタログを作成し、広く情報提供していただくと検討しやすい。</p>

建材としての利用以外で考えられる木材の活用方法について  
本市では、国産木材の建材以外の活用方法として、木のおもちゃロッカー、絵本ラックベンチ等の備品に多く活用している。

森林環境譲与税の使途はどのように決められているのか。

当初は、森林環境譲与税について要求依頼がなかったが、事業検討フローを作り、各部各課から上がったものを課長で構成される幹事会、それから各部の副部長で構成される検討委員会において審議決定をするということで、使用についてまとめている。

内容は、①森林整備、②人材育成、③普及啓発、④木材利用について資金を活用することになっている。その中の④については、使用の優先順位を県産木材、次に宮崎県産飢肥杉、次に国産木材とすることを条件に入れている

所見

那覇市では 相当量の飢肥杉が使用されていると推定する。しかし私の行った事前調査では飢肥杉の出荷量についてまとめることができなかった。今後その辺を含め各部署と連携を取り、より良い環境作りに努めていかなければならないと感じたところである。

令和 8 年度 産業建設常任委員会 行政視察報告書

氏 名	谷口慎二
-----	------

No. 2

年 月 日	令和 8 年 5 月 14 日 ( 木 )
調 査 事 項	プロ野球キャンプの受け入れ体制について
視 察 先	コザしんきんスタジアム
概要及び所見	<p>広島カープのキャンプ第2クールとして、日南市天福球場から向かうコザしんきんスタジアムの状況及び環境等を調査した。</p> <p>まず、沖縄市がスポーツトレーニングキャンプなど積極的に受け入れている背景として 観光、史跡などが少なく、世代を超えたスポーツ合宿などに力を入れてきた経緯があるようだ。</p> <p>そこで沖縄市スポーツトレーニング、キャンプガイドと言うものを作り、沖縄市でのスポーツトレーニング、キャンプのメリット、流れ、医療、宿泊を含めた充実した環境を前面に出し、新しい設備をメインとし、沖縄サントリーアリーナなどを広報していた。ガイドの中では、すべての設備の詳細な内容も出されており、わかりやすく作り上げられていると感じた。</p> <p>所見</p> <p>施設の新しさで言えば、沖縄市には良いものがあった。今後設備での戦いでは難しいものがある中、日南市としては一つ一つの課題要求に対応するスピーディーさが大事と考えた。</p>

令和 8 年度 産業建設常任委員会 行政視察報告書

氏 名	谷口慎二
-----	------

No. 3

年 月 日	令和 8 年 5 月 15 日 ( 金 )
調 査 事 項	舳肥杉材を使用した木造船の造船技術について
視 察 先	うるま市 (うるま市立海の文化資料館)
概要及び所見	<p>前回日南市で建造したチョロ船 4 号艇が 2017 年建造され、今年度債務負担を 3 年間で予算を計上されたため、うるま市の越来 (ごえく) 造船所に依頼されるとのことで、伺った。</p> <p>現在、物価上昇を含め塗料など入手困難な物も出始め、実際 3 年後の物価、人件費など先行きが読めない状況において建造は非常に難しいとの思いを言われた。</p> <p>また、越来さん曰く、昔の西日本の木造船は舳肥杉であっただろうと 舳肥杉の熱狂的なファンであるとのことで、地元では舳肥杉の素晴らしさを子供達にも教えていると聞いた。</p> <p>日南市でも教育に舳肥杉の素晴らしさは伝えられているのかと、言われ、教育の一環として使っていないなと感じた。</p> <p>所見</p> <p>今回のチョロ船作成は価格の上昇等を注視しながら、適切な対応を取って頂きたい。</p> <p>油津文化遺産の中では、チョロ船を含め越来さんをお呼びし舳肥杉の良さを日南市で講演してほしいと感じた。</p>

令和 8 年度 産業建設常任委員会 行政視察報告書

氏 名	柿原聡子
-----	------

No. 1

視 察 年 月 日	令和 8 年 5 月 13 日 (水)
調 査 事 項	木材利用促進の取り組みについて
視 察 先	沖縄県那覇市：那覇市役所 首里金城村屋
概要及び所見	<p><b>【概要】</b> 木材の利用促進状況や、森林環境譲与税の使途、飫肥杉の利用状況についてご教授いただいた。</p> <p><b>【所見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前質問で、林業の担い手確保について伺ったが、那覇市は森林率が 0% で、森林がほとんど存在しない地域であるため、担い手確保に向けた具体的な取組は実施していないとのことだった。</li> <li>・森林率が 0%なのに、なぜ森林環境譲与税が 4,000 万円もあるのかが少々疑問だったが、使用する木材の優先順位で県産材の次に飫肥杉を位置づけ、積極的に使用していただけているので、まあ良いのかな…と。</li> <li>・沖縄の住宅はコンクリート造りが主流だが、最近は木造住宅が増えているそうだ。若い方々が木造住宅を好む傾向にあるらしい。</li> <li>・首里金城地区住民のふれあいの場として利用されている『首里金城村屋』は、首里金城地区の歴史文化の伝承と観光振興を図るため、平成 8 年に建設された建物である。畳裏床材など、適所に飫肥杉が使用されているとのことで見学させていただいた。飫肥杉を使用したことで、シロアリに強く耐久性に優れ、これからも十分に使用し続けられる状況であるとお聞きした。</li> <li>・飫肥杉は、節が多いことや、柔らかく傷つきやすいという短所がある反面、木のぬくもりや温かみを感じられるという長所があるので、ベンチなどの備品や玩具などで、施設や学校で多く活用されているようだ。</li> </ul>

氏名	柿原聡子
----	------

No. 2

視察年月日	令和 8 年 5 月 14 日 (木)
調査事項	プロ野球キャンプの受け入れ体制について
視察先	沖縄県沖縄市：コザしんきんスタジアム
概要及び所見	<p><b>【概要】</b> コザしんきんスタジアムの設備等を見学させていただきながら、プロ野球キャンプの受け入れ体制についてご教授いただいた。</p> <p><b>【所見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャンプには約 35,000 人が訪れ、そのうちの 7 割は沖縄市外の方とのこと。キャンプシーズンには、市職員や議員などの関係者全員がカープイラストでデザインされた赤いジャンパーを着用してアピールするそうだ。</li> <li>・本部として使用される部屋は床がオフィス使用で Wi-Fi 完備となっており、コワーキングスペースとして貸し出せるようになっていた。</li> <li>・球団からは、「控えベンチを広くしてほしい」「スタジアムまでの通路をスパイクを履いたまま移動できるように改修してほしい」「ロッカールームでミーティングできるように改修してほしい」などの要望があり、他にもトイレの改修や照明を全て LED に変えるなど、全ての要望に応える計画をしているとお聞きした。凄すぎる…。</li> <li>・「ありがたい悩みとして、年間通して閑散期がなく、常に色々な団体が使用しているため、その活動を妨げないように改修していかなければならないので、改修計画を立てるのが難しい」と仰っていた。</li> <li>・色々な説明を聞けば聞くほど、こちら側の委員は落ち込むばかりで、「カープの日南市撤退は時間の問題。こんな凄い施設と競うのは無理。日南市ももう少し考えないと…」という話になってしまった。</li> </ul>

氏 名	柿原聡子
-----	------

No. 3

視 察 年 月 日	令和 8 年 5 月 15 日 (金)
調 査 事 項	舳肥杉材を使用した木造船の造船技術について
視 察 先	沖縄県うるま市：うるま市立海の文化資料館
概 要 及 び 所 見	<p><b>【概要】</b>  施設を見学させていただきながら、伝統的な造船技術についてご教授いただき、チョロ船を作られた越来さんに舳肥杉について熱く語っていただいた。</p> <p><b>【所見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・船体の底の部分が前方に向かって複雑な反り方をしており、これは舳肥杉でしか作ることができない技術だと仰っていた。</li> <li>・越来さんは、本来、船大工なので船を作ることに専念したいが、昔と違って、希望通りの杉を育てたり選別で見極められる山師さんもなかなかおらず、日南市へ来て杉の選別から製材まで関わっているので、1隻作り上げるのに時間がかかると仰っていた。物価高騰の影響も受けているので、2～3年後に出来上がるころでの見積もりも出せないのが困っているとのこと。</li> <li>・船大工は越来さんしかおらず、今のところ跡継ぎもいないとのことだった。後継者を育てるために、市でも学校教育に力を入れていて、越来さんから子ども達に船や道具についての講義や体験授業をしてもらい、その授業を通して興味を持ってもらうという取組をされている。</li> <li>・日南市にとって、舳肥杉がとても身近にありすぎて普通になっているのはもったいない。大変貴重なことなので、もっとアピールをした方が良い！との熱いアドバイスを受けた。日南市でも学校教育に取り入れて、ご講義いただければいかがだろうか。</li> </ul>

氏 名	富士 洋一
-----	-------

No. 1

視 察 年 月 日	令和 8 年 5 月 13 日 ( 水 )
調 査 事 項	木伐利用推進の取り組みについて
視 察 先	那覇市役所 (首里金城村屋)
概 要 及 び 所 見	<p>沖縄県那覇市の木材利用促進の取り組みについて</p> <p>○那覇市総面積が 4,146 ha、民有林面積 17.61 ha、森林率 0%で、森林率が極めて低いと感じ、森林そのものが無いに等しい地域です。公共施設や公共事業については、森林環境譲与税を活用して木材利用の推進を検討しているそうです。</p> <p>○林業の担い手確保については、森林がほとんど存在しない地域であり、林業従事者も 21 名と少なく、担い手確保に向けた県全体的な取り組みは実施していないそうです。</p> <p>本市では、飫肥杉等、森林が多く、伐採後は苗木を植え、雑草を刈り取りながら作業を行い、下刈りや間伐などを行います。その為、多くの人材も必要であり、担い手確保を行わなければならない。</p> <p>○飫肥杉を那覇市で利用するうえで、短所として、耐久性に課題があり、道路構造物としては鋼材コンクリートに比べ強度が劣り、可燃性があることから、火災時の安全性に課題があるそうだ。</p> <p>長所としては、環境に優しく、木の温もりを感じさせ、情操教育の面で効果があるそうだ。首里金城村屋を見学したが、飫肥杉は畳裏床材など適所に使用されており、シロアリに強く耐久性に優れているそうです。今後は住宅等にも利用していただきたいと思います。本市では、住宅等に使用して、皆様に喜ばれています。</p> <p>○森林環境譲与税を活用し、17 の事業をされていますが、本市においてもいろいろな活用をしなければならぬと感じた。</p> <p>17 事業の一部：教育保育充実事業・森の家みんな備品整備事業・公園維持管理事業・木のぬくもりにつまれた空間づくり支援事業等他</p>

氏 名	富士 洋一
-----	-------

No. 2

視 察 年 月 日	令和 8 年 5 月 14 日 ( 木 )
調 査 事 項	プロ野球キャンプの受け入れ体制について
視 察 先	沖縄市 (コザしんきんスタジアム)
概 要 及 び 所 見	<p>沖縄県沖縄市のプロ野球キャンプ受け入れ体制について</p> <p>○観光客は1年中多いと思われる沖縄市も、閑散期の時期もあり2月もその時期であるが、春季キャンプが開催されることにより、多くの観光客が訪れているそうです。沖縄県外の方も多く、プロ野球のキャンプがあることにより、プロバスケットボールなどの相乗効果もあり経済効果が生まれています。ただ、宿泊するホテル等が観光客の数からすると少なく、他市へ行かれる客が多いと言う事です。沖縄市としては、経済効果が薄いそうです。</p> <p>○コザしんきんスタジアムも多くの観光客が入り、収容人数も15,000人以上になります。今年度より、スタジアムのいろいろな場所を整備するそうです。照明塔の整備、ベンチや建屋内の内部の整備をしてより使いやすいようにされるそうです。</p> <p>本市にしても、天福球場や南郷スタジアム等、整備を密に行い使用するプロ野球や大学野球の希望も入れ、使用していただき観光客に対しても、見学しやすいようにすべきだろうと思います。</p> <p>また、本市は、宿泊するホテル等も少なく、本市を観光客の通過点とにならないように宿泊していただいて、いろいろ観光をして帰っていただけるようにしなければならぬと思います。本市の今後の大きな課題だと思っています。</p>

氏 名	富 土 洋 一
-----	---------

No. 3

視 察 年 月 日	令 和 8 年 5 月 15 日 (金)
調 査 事 項	舩肥杉材を使用した木造船の造船技術について
視 察 先	うるま市立海の文化資料館
概 要 及 び 所 見	<p>舩肥杉材を使用した木造船の造船技術について</p> <p>○うるま市は、平成 17 年 4 月に 2 市 2 町が合併して誕生した市です。平成 29 年には、「第 2 次うるま市総合計画」を策定し「愛してます すみよいまち うるま」の実現に向けて、まちづくりを進めているそうです。</p> <p>人口は令和 8 年 4 月 1 日現在、127,241 人で昨年よりも 308 人(0.2%)増という事です。地形は離島地域を含め大部分が海岸に面しています。</p> <p>○舩肥杉材を使用した木造船の造船技術は誰でもができるものではなく、現在は越来氏だけとなっております。マーラン船(山原船、やんばるせん)とも呼ばれます。那覇へ生活物資、家畜を運ぶ貨物船として活躍した沖縄独自の文化遺産です。地元での建造技術や後継者の確保が困難になった段階で、日南市の関係者は沖縄県で伝統的な木造船の技術を受け継ぐ「越来造船」にチョロ船の建造・修復を手掛けていただいたそうです。</p> <p>木造船は寿命が短いという特徴もあり、うるま市教育委員会文化財課では、技術を後世に残すため、造船などや市内全域の文化財を総合的に保存・活用し、地域活性化と将来への継承を目指す計画で、歴史文化遺産をまちづくりや観光に活かすための具体的な取り組みを定めています。</p> <p>○越来氏は、もっと日南の舩肥杉の良さを宣伝し、舩肥杉の活用を広げてほしいといわれました。本市もいろいろな角度から、舩肥杉の良さを今後、今以上にしなければならぬと感じた。</p>

氏 名	山田 一
-----	------

No. 1

視 察 年 月 日	令和 8 年 5 月 1 3 日 (水)
調 査 事 項	木材利用促進の取組について
視 察 先	那覇市
概 要 及 び 所 見	<p>那覇市においては総面積が 4,146 ha で私有林面積が 17.61 ha で森林率は 0 % です。那覇市森林環境譲与税の使途事業検討フローを設けるとともに、森林環境譲与税基金運用要領を設け各事業を行っています。木材利用に基金を利用する場合の木材は国産材とし使用優先順位を①県産材、②宮崎県飫肥杉、③国産材としています。</p> <p>(1) 主な事業として</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 市政 100 周年記念企画事業 市内すべての幼児教育・保育施設へ木材積木の贈呈</li><li>・ 小禄支所建設整備事業 支所建替に伴い記載台やカウンター等に木材備品</li><li>・ 公園維持管理事業 タカマサイ公園木柵防護柵が経年劣化により腐食したため、国産材で修繕 その他各種事業を行っています。</li></ul> <p>(2) 日南市の飫肥杉を利用するうえでの長所・短所を質問。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ <u>短所の改善策として、飫肥杉の知名度向上のため、飫肥杉を活用した備品や玩具等の取扱店舗の一覧や、飫肥杉の長所を生かした活用事例紹介などを掲載したカタログを作成し、広く情報提供をしてもらうと検討しやすいとの要望があった。</u></li></ul> <p>(3) 伝統的琉球木造建築「首里金城村屋」</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 「首里金城村屋」は、沖縄の伝統的な住居建築を基にした木造平屋建です。建築材は榎と杉（日南市飫肥杉）利用している。</li></ul> <p>(4) 現在の飫肥杉利用について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 鉄骨やコンクリート価格が上昇のため飫肥杉利用が増えてきた。</li></ul>

氏 名	山田 一
-----	------

No. 2

視 察 年 月 日	令和 8 年 5 月 1 4 日 (木)
調 査 事 項	プロ野球キャンプ受け入れ体制について
視 察 先	沖縄市 (コザしんきんスタジアム)
概 要 及 び 所 見	<p>(1) コザしんきんスタジアムの視察</p> <p>① スタジアム・投球練習場その他施設について</p> <p>・施設については日南市の施設より充実している。キャンプ等利用する団体においては利用しやすい設備です。</p> <p>沖縄市コザ総合運動公園として、コザしんきんスタジアム、陸上競技場、コザしんきんドーム、投球練習場、トレーニングセンター、体育館等その他使いやすい施設になっている。</p> <p>今後も野球場においては、スコアボードの整備 (球種の判別等ができる公認のスピードガン) やプロ野球でも使える照明の改修、更衣室等を予定している。</p> <p>② ハード (スポーツ施設・宿泊ホテル) では沖縄市と比較すると太刀打ちできない所があるので、ソフト面、特に「食事」と「おもてなし」をもっと充実する必要がある。</p> <p>③ 沖縄市でのスポーツや大会等を検討している国内外の問合せに対応するため沖縄市観光物産振興協会内に<u>沖縄市スポーツコミッション</u>を置き、専門的に合宿日程・種目や人数・施設宿泊の調整等を行い多くのスポーツ団体の受け入れをしている。日南市でも<u>営業と各種調整のできる専門部署</u>を設置してはどうか。</p>

氏 名	山田 一
-----	------

視 察 年 月 日	令和 8 年 5 月 1 5 日 (金)
調 査 事 項	舣肥杉材を使用した木造船の造船技術について
視 察 先	うるま市 (うるま市立海の文化資料館)
概 要 及 び 所 見	<p>うるま市の海の文化資料館において越来造船の船大工<sup>こえく</sup>越来勇喜氏から舣肥杉やマーラン船・チョロ船の造船技術や現状について説明を受けた。</p> <p>(1) 舣肥杉を使った造船技術について</p> <p>① 舣肥杉については我々よりもその特徴には詳しく、以前は西日本の木造船はほとんど舣肥杉で造られていたと説明を受ける。(舣肥杉は曲げと水に強いのが特徴)</p> <p>② 造船へのこだわり 棟梁自ら宮崎県日南市の山に入り、自分の目で木を選び、山師の伐採と職人による製材(日南市)にも立ち会う。</p> <p>③ 切り出した木材をパズルのように組合せ、高度な理知的な造船技術で完成させ伝統文化を守っている。</p> <p>(2) うるま市は木材造船を継承するため「うるま市立海の文化資料館」を建設。</p> <p>① 常設展示としてうるま市指定無形民俗文化財である越来<sup>こえく</sup>治喜が造ったマーラン船、船大工にまつわる資料を展示している。</p> <p>② 企画展示では常設展示で紹介できない、モノ・文化・慣習深く掘り下げたいテーマなどを展示。</p> <p>③ 体験型の学習としてみるだけでなく実際に体験する学習にも積極的に取り組んでいる。</p> <p>④ 市民に開放された施設として施設のスペースを無料開放。</p> <p>(3) 地元の日南市で舣肥杉の良さをもっと広報。 うるま市では「マーラン船見学会」や船大工の方を講師に招き「親子船の模型作り体験教室」を行っている。 <u>日南市でも舣肥杉の歴史と良さを次世代の子どもたちにもっと積極的に伝えることが重要。油津歴史資料館(ガイダンスセンター)を有効利用する必要がある。</u></p>

令和 8 年度 産業建設常任 委員会 行政視察報告書

氏 名	川口 和也
-----	-------

No. 1

視 察 年 月 日	令和 8 年 5 月 1 3 日 ( 水 )
調 査 事 項	木材利用促進の取組について
視 察 先	沖縄県那覇市
概要及び所見	<p><b>【概要】</b></p> <p>那覇市の総面積は 4,146ha で、その内の森林面積が 17.61ha であり、森林率 0 % である。林業従事者は 21 名で非常に少ない。</p> <p>森林環境譲与税は、令和 7 年度が 41,646,000 円（日南市 R6 決算 131,533,000 円）であり、その用途は各部の副部長で構成する検討委員会が各部各課から要求を受け付け、内容を検討し譲与税用途事業として割り振る。用途の内容は、公共施設の壁など大規模なものではなく、ベンチや記載台、積木など小規模なものである。</p> <p>住宅は、台風への耐久性から木造はほとんどなく、RC 造であるとのこと。</p> <p>事前質問の「改善策があれば」の回答で「認知度向上のため餌肥杉を活用した備品や玩具等の取扱店舗の一覧や長所を活かした活用事例紹介などを掲載したカタログを作成し、広く情報提供を図られたら」とあった。</p> <p><b>【所見】</b></p> <p>RC 造住宅でも、内装の壁などへの使用も可能であることから、事前質問で指摘されている「活用事例紹介などを掲載したカタログを作成」は有効な手立てだと思ふ。</p> <p>また、14 日に視察した沖縄市の担当者からは、「近年 RC 造に比較して木造が安いことや温もりが感じられることから、若い人で木造住宅を作る人も現れている」と言われていた。餌肥杉を売り込む余地はまだまだあるとは感じるので、民を主体とする持続的で長期のセールス体制が必要だと感じる。林業者の売り込みより建築主体（内装を含む）が必要と思える。</p>

令和 8 年度 産業建設常任 委員会 行政視察報告書

氏 名	川口 和也
-----	-------

No. 2

視 察 年 月 日	令和 8 年 5 月 1 4 日 ( 木 )
調 査 事 項	プロ野球キャンプの受け入れ体制について
視 察 先	沖縄県沖縄市コザしんきんスタジアム
概 要 及 び 所 見	<p><b>【概要】</b></p> <p>県内他市が観光も主体とした施策であるが、沖縄市はスポーツ合宿を主体においている。沖縄市コザ総合運動公園は、沖縄自動車道の沖縄南 IC の近くにあり、立体駐車場も完備し、特に県内最大級の野球場と陸上競技場を備えている。</p> <p>スポーツ合宿の受け入れは市観光物産振興協会内にある「沖縄市スポーツコミッション」が宿泊手配・全費用の請求までおこない、合宿窓口が一本化されている。</p> <p>視察は、コザしんきんスタジアム、室内練習場、投球練習場を見学した。コザしんきんスタジアムは 1 万 5 千人を収容し、内野スタンドも大きな施設となっている。今年度に球団の要望事項を含めたスタジアム内外の改修計画を策定するとのことであった。大卒の改修額は示されなかったが、説明の内容からかなりの財政規模であると思えた。資金は基地交付金や補助金の活用で賄うとのことであった。</p> <p><b>【所見】</b></p> <p>市の規模からの宿泊、飲食施設のキャパ、受入れ態勢システム、競技施設個々の規模等、そして施設改修への取組どれをとっても日南市と比較して上回っていると感じた。</p> <p>球団との関わりの歴史と「おもてなし」への充実と工夫で対抗するほかないように感じた。</p>

令和 8 年度 産業建設常任 委員会 行政視察報告書

氏 名	川口 和也
-----	-------

No. 3

視 察 年 月 日	令和 8 年 5 月 1 5 日 ( 金 )
調 査 事 項	舣肥杉材を使用した木造船の造船技術について
視 察 先	沖縄県うるま市海の駅あやはし館
概要及び所見	<p><b>【概要】</b></p> <p>海の文化資料館は、うるま市海の駅「あやはし館」の一角にあり、入口には舣肥杉の弁甲（丸太材）が置かれ「舣肥杉」と表示されていた。</p> <p>学芸員の方から、館内の木造船の展示内容の説明を受けた後、船大工の越來（ごえく）勇喜氏から、木造船の大まかな工程は「木を選び」→「製材し」→「木材の組合せ」をして完成すると説明を受けた。</p> <p>特に、一枚板にひねりを加えながら作り、極の曲がりにも耐える材は舣肥杉だけであり、油分も多く木造船に最適な材料であると説明があった。</p> <p>日南市が今年度発注予定の「チョロ船」については、「最適な杉を見抜ける業者が日南にいないため直接山へ行き選別する。前回は引退した経験者で80cmの長丸太を製材したが、今回は50cmまでしか製材出来ず製材できる人材があるか不安。材幅が狭いことは加工材数が多く作業日数も前回に比べ多くなる」ということであった。</p> <p>前回の条件を基に見積もったため、実際施工時は提出見積の倍近くの額と工程日数が必要になるとのことであった。</p> <p><b>【所見】</b></p> <p>海の文化資料館に木造船の造船用具等の資料を保存・公開し、木造船技術保持者の越來（ごえく）治喜氏を市の無形民俗文化財に指定して後継人材の育成を図るなど、後世への伝統的な木造船の造船技術を絶やさぬ意気込みを感じた。</p> <p>越來（ごえく）勇喜氏に日南市に来てもらい、舣肥杉の特徴や「チョロ船」を作るに当たっての舣肥杉の使用法や苦勞など興味ある説明を講演をしてもらいたい。</p>

令和 8 年度 産業建設委員会 行政視察報告書

氏 名	濱中 武紀
-----	-------

No. 1

視 察 年 月 日	令和 8 年 5 月 1 3 日 (水)
調 査 事 項	木材利用促進の取組みについて
視 察 先	沖縄県那覇市 (那覇市役所、首里金城村屋)
概 要 及 び 所 見	<p>沖縄県那覇市は、大正 1 0 年に市制施行。昭和 4 4 年に本市と姉妹都市盟約を締結。市の面積は約 4 1 km<sup>2</sup>と本市の 1 3 分の 1 の面積。人口は約 3 0 万人で、人口密度は県庁所在地では全国で 4 番目に高い。</p> <p>那覇市については土地が少なく地価の高騰もあり、若干の人口減少傾向にある。</p> <p>那覇市の産業は、農業・漁業などの第一次産業は極端に少なく、観光業が盛んで全事業所に対する第三次産業の事業数の割合は 9 0 % を超えている。那覇市の森林率は 0 % と極めて低く、一部の公園等に存在する程度で、林業従事者も 2 1 名と少ない。このため、林業の担い手確保に向けた取組みは行われていない。</p> <p>そのような中、木材利用促進の取組みについては、森林環境譲与税を活用し、庁内検討会議で審議した事業を予算化している。主に、建物の内装化、教育現場等での備品、公園のベンチや東屋などに使用されているが、公共建築や一般住宅については、安全性や耐久性の課題があることが指摘されている。木材使用の優先順位は、県産木材 (琉球松)、宮崎県産飫肥杉、国産木材となっているが、県産木材に比べ、飫肥杉はコストが高いことも課題。</p> <p>まだまだ、飫肥杉の利活用をまとめた冊子等を作成するなど、PR することが大事であると感じるとともに、可能性としては、サバニ船やハーリー船などの船材としての利用の可能性が高いと感じた。</p>

令和 8 年度 産業建設委員会 行政視察報告書

氏 名	濱中 武紀
-----	-------

No. 2

視 察 年 月 日	令和 8 年 5 月 1 4 日 (木)
調 査 事 項	プロ野球キャンプの受入れ体制について
視 察 先	沖縄県沖縄市 (コザしんきんスタジアム)
概 要 及 び 所 見	<p>沖縄県沖縄市は、沖縄県の中部に位置し、1974年に旧コザ市と美里村が合併し誕生。面積は、約 50 km<sup>2</sup>で人口は那覇市に次ぐ約 15 万人で、人口も微増が続いている。東洋一の米軍基地である嘉手納基地などを有しており、国際色豊かな地域。伝統芸能であるエイサーが盛んで、沖縄全島エイサーまつりが毎年開催されている。</p> <p>沖縄市は、沖縄市コザ運動公園と沖縄県総合運動公園の 2 つの大きなスポーツ施設を有しており、観光地が少ない沖縄市は現在、スポーツコンベンションの推進をはじめ、スポーツを通じた街づくりに力を入れている。</p> <p>とりわけ、沖縄市コザ運動公園には、広島カープが 1982 年からキャンプを行っているコザしんきんスタジアム、コザしんきんドーム、投球練習場、陸上競技場、体育館、室内多目的運動場、バスケット専用の沖縄サントリーアリーナなど、充実した施設が整っている。</p> <p>いずれの施設も、沖縄振興予算や基地関係交付金が 9 割ほど充当されており、また、コザしんきんスタジアムはコザ信用金庫が年間 1,000 万円、沖縄サントリーアリーナは、沖縄サントリー (株) が年間 5,000 万円のネーミングライツ料を支払っている。</p> <p>今後の改修予定は、スタジアムのナイター設備の照度の充実、ロッカールームの拡張、キャンプ時のファンと選手の導線確保対策などを予定している。</p>

いずれにしても、施設の充実ぶりは豊富な財源面からも圧倒的な差が感じられ、施設面において広島カープからの要望等は特にならない。

また、選手のホテルについても市内有数のリゾートホテル、オキナワグランメールリゾートが利用されており、練習環境や宿泊環境などのハード面については比べものにならない事実がある。

沖縄市の受入れ体制としては、スポーツ合宿や大会の開催については、沖縄市スポーツコミッションという組織があり、この組織が各スポーツ施設及び宿泊施設との調整を一元的に実施している。

広島カープのキャンプ受入れについては、本市同様のカープ協力会が組織され、事務局を沖縄商工会議所が担っている。沖縄市担当としては、カープキャンプと観光を一体的に推進する狙いがあり、(一社)沖縄市観光物産振興協会に事務局を移したい意向があるようだ。

来年の春期キャンプで65周年を迎える本市であるが、様々な面において沖縄市との受入れ体制の差が明確になっており、現状では現オーナーと本市との関係性で保たれているのが正直なところである。

令和 8 年度 産業建設委員会 行政視察報告書

氏 名	濱中 武紀
-----	-------

No. 3

視 察 年 月 日	令和 8 年 5 月 1 5 日 (金)
調 査 事 項	舣肥杉を使用した木造船の造船技術について
視 察 先	沖縄県うるま市 (うるま市立海の文化資料館)
概 要 及 び 所 見	<p>沖縄県うるま市は、沖縄県中部の東海岸に位置し、平成 1 7 年に具志川市、石川市、勝連町、与那城町の 2 市 2 町が合併し、人口約 1 3 万人の、沖縄県では那覇市、沖縄市に次ぐ 3 番目に人口が多い都市。8 つの島を有し、伊計島など 5 島は海中道路や架橋によって結ばれている。</p> <p>今回訪問した資料館は、海中道路の中間に位置し、うるま市の指定無形民俗文化財であるマラー船や船大工にまつわる資料を常設展示している施設で、海の駅あやはし館も併設されており、土産品や食事処もあり、多くの観光客が訪れている。</p> <p>うるま市は、海中道路や様々な海に関するアクティビティも充実していることから、琉球伝馬船の操船体験はもとより、船大工の技術継承のため、市内の子供たちに船内見学会や模型づくり体験など船に関する学習を行っている。</p> <p>今回は、教育委員会の方と、マラー船の造船技術を唯一継承している越來造船 4 代目の方に説明を受けた。越來氏については、1 0 年前に本市のチョロ船の造船をした方で、今回、市が戸村基金を活用した堀川運河の水辺利活用事業でチョロ船の造船発注を予定している。</p> <p>同施設の入り口には、舣肥杉丸太が展示されており、船材についての舣肥杉の重要性が開示されており、越來氏もその重要性や価値について、日南市民はもっと誇りに思い、知るべきだと話された。</p>

チョロ船等を造船する場合には、まずそれに見合う木（年数、まがり具合等）を選ぶことが必要であり、実際に造船するとなると、船大工と飢肥杉に詳しい山師とが山に入り、木を見つけることから始まる。その後、木を切り出すことや輸送するコストなどを考えた場合、人件費や物価高騰、燃料高騰など時間とコストがかなり高くなっている現状があることを理解しないとイケない。

今回訪れた施設において、改めて飢肥杉の価値を現地の方々が力説する姿を見て、日南市民にどれだけ浸透しているかということを感じた。今後チョロ船を造船する場合は、この船大工を本市に招き、市民向けや教育現場において、飢肥杉の講話をしていただくことも必要だと感じた。さらに、現在建設中のガイダンスセンターにおいても、飢肥杉と沖縄那覇市、うるま市との関わりなども紹介すべきではないかと思った。